

経済・金融 フラッシュ

中国経済：来週の注目ポイント

経済調査部門 上席主任研究員 三尾 幸吉郎

TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 来週、中国では物価や貿易に関する重要統計が発表される予定である。まず、4月9日（火）には3月の消費者物価指数が発表される。前回3月9日に発表された2月の消費者物価は前年同月比3.2%と予想を上回る上昇を示し、預金基準金利（1年定期、3.0%）を上回ったことから利上げ観測が急浮上した。今回発表の3月は食品や燃料費の下落で上昇率は2.5%前後に低下すると予想しており、先月盛り上がった利上げ観測は一旦遠退いたとの見方に傾く可能性がある。
- また、4月10日（水）には貿易統計が発表される。前回3月8日に発表された2月の輸出総額は前年同月比21.8%増と予想を大きく上回った。但し、2月は輸入が大幅に減少、輸入は輸出に先行して増加することが多いだけに、今回発表の3月の輸出は反動減になる可能性があり要注目である。

○来週発表予定の経済指標

発表 予定日	経済指標	当研究所の予測値		前回	
			対象期	(改定後)	対象期
4月9日	消費者物価指数 (前年同期比)	2.5%	2013年3月	3.2%	2013年2月
4月10日	貿易収支 (百万ドル)	13,822	2013年3月	15,225	2013年2月
	輸出総額 (前年同期比)	12.8%	2013年3月	21.8%	2013年2月
	輸入総額 (前年同期比)	7.8%	2013年3月	-15.2%	2013年2月

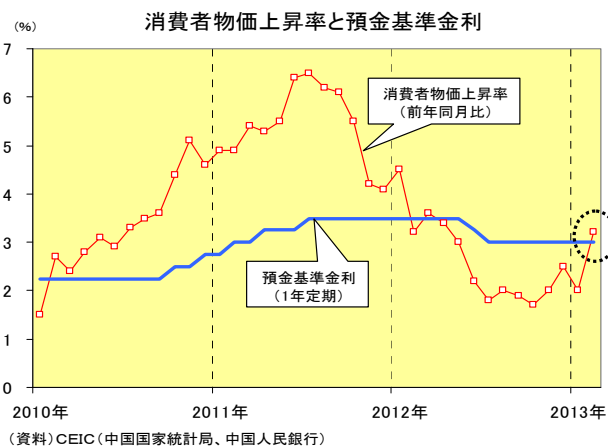
①消費者物価指数〔発表予定日4月9日〕

まず、9日（火）には3月の消費者物価指数が中国国家統計局から発表される。前回発表の2月は前年同月比3.2%と9ヵ月ぶりに3%台にのせ、預金基準金利（1年定期、3.0%）を上回ったことから利上げ観測が浮上した（図表-1）。

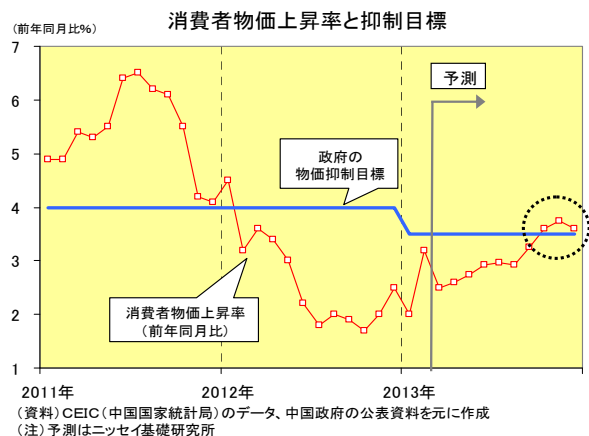
今回発表の3月は、春節を終えて例年通り食品価格が下落したのに加え、月末にはガソリン・ディーゼル油が値下げされたこともあり、2月の3.2%を大きく下回り2.5%前後に低下する可能性が高いため、先月盛り上がった利上げ観測は一旦遠退いたとの見方に傾くだろう。但し、やや長めに見ると、昨年10月の同1.7%を底にじわじわと上昇し始めており、中国人民銀行の周小川総裁も「インフレを高度に警戒する必要がある」と述べるなどインフレに神経を尖らせている。3月に開催された全国人民代表大会（国会に相当）では、今年の消費者物価の抑制目標を3.5%前後としており、

それを超えるのはまだ先と予想しているものの（図表-2）、予想を上回る上昇率を示すようだと、利上げが回復の腰を折るとの懸念が台頭しかねないだけに、今回の消費者物価は要注意である。

（図表-1）



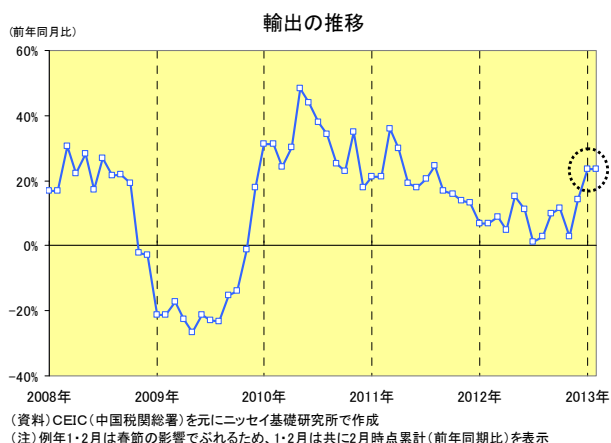
（図表-2）



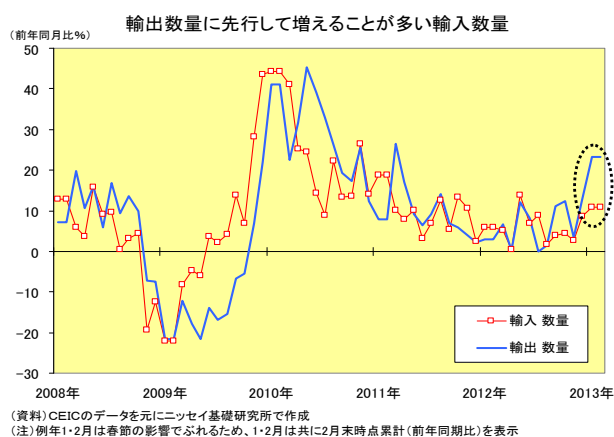
②貿易統計〔発表予定日4月10日〕

また、10日（水）には、中国税関総署が3月の貿易統計を発表する予定である。前月発表された2月の輸出総額は前年同月比21.8%増と好調な数字を示した。春節（中国の旧正月）の影響をほぼ排除できる1-2月期で見ても前年同期比23.6%増と、昨年通期の前年比7.9%増を大きく上回った（図表-3）。欧米先進国の景気回復は依然として緩やかであり、輸出に先行して増加することが多い輸入も緩やかな伸びに留まっていることから（図表-4）、3月の輸出総額は1-2月期に伸びが高まった反動で前年同月比12.8%増へと一旦伸びが鈍ると予想している。

（図表-3）



（図表-4）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。